

23	愛知県春日井市立出川小学校 外1校	R4~7
----	-------------------	------

令和4年度研究開発実施報告書（要約）

1 研究開発課題

生涯にわたって自ら学びを進めていくことができる児童生徒の育成を目指した、これからの時代の学習の基盤となる資質・能力の育成に向けた教育課程及び指導方法に関する研究開発

2 研究開発の概要

本研究では、GIGA スクール構想により整備された1人1台端末やクラウド環境を効果的に活用して情報活用能力を育成することを目標とする「情報の時間」を創設することを目的として、1：教科横断的な視点を常に意識した学習活動のあり方、2：情報活用能力の体系的・系統的な育成のための教育課程、3：教材の共有、リーダー育成などの指導体制の確立等について研究を行う。

3 研究開発の経緯

月・日	内容（◆授業研究会、○研究推進委員会 ◎運営指導委員会）
4・27	○研究推進委員会（於：高森台中学校） ・研究構想や研究計画の検討、「情報の時間」の取り扱いについて
5・19	◆校内授業研究会（高森台中学校） ・7授業を公開、指導講評をいただく
5・19	◎第1回研究開発運営指導委員会（於：高森台中学校） ・研究構想や研究計画の提案
5・26	○研究推進委員会 ・研究構想の確認、「情報の時間」の検討
5・27	・研究開発学校連絡協議会 ・研究開発について、指導助言
6・24	◆校内授業研究会（出川小学校） ・2授業を公開、指導講評をいただく
6・24	◎第2回研究開発運営指導委員会（於：出川小学校） ・教育課程の検討、「情報の時間」の確認
7・26	○研究推進委員会 ・教育課程の作成について、情報活用能力の年間指導計画の検討
8・9	○研究推進委員会 ・教育課程編成の趣旨と方向性の確認、「情報の時間」の内容の検討
8・25	○研究推進委員会 ・「情報の時間」の単元構成の検討
9・9	○研究推進委員会 ・「情報の時間」の指導内容の整理、「情報の時間」の指導時数の検討
9・15	○研究推進委員会 ・「情報の時間」の教育課程の整理、指導内容の検討
9・21	・文部科学省実地調査（出川小学校、高森台中学校） ・研究開発の概要説明、指導助言、授業公開
9・29	◆校内授業研究会（高森台中学校） ・6授業を公開、指導講評をいただく
9・29	○研究推進委員会 ・教育課程作成の課題の整理、「情報の時間」（試行）の実施について

10・28	◆校内授業研究会（出川小学校、高森台中学校） ・JAET 全国大会として、出川小学校は7 授業、高森台中学校は9 授業を公開 ・指導講評をいただく
11・11	○研究推進委員会 ・教育課程の評価について
12・15	○研究推進委員会 ・情報活用能力の系統性の検討
1・27	◆校内授業研究会（高森台中学校） ・8 授業を公開、指導講評をいただく ・「情報の時間」（試行）の授業を公開
2・3 2・6 2・22	◆校内授業研究会（出川小学校） ・6 授業を公開し、指導講評をいただく ○研究推進委員会 ・教育課程の評価と改善 ○研究推進委員会 ・「情報の時間」（試行）の指導内容の評価と改善
3・1	◎第3 回研究開発運営指導委員会（於：高森台中学校） ・次年度の方向性について ・「情報の時間」の試行的な授業実践の公開

4 研究開発の内容

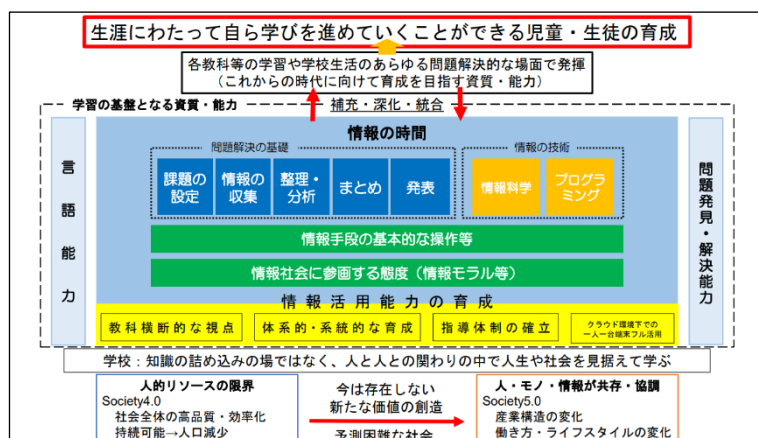
（１）研究仮説

教科横断的な学習・多様な学習活動の充実を目指し、学びの道具としての1 人1 台端末・クラウド環境を有効活用した「情報の時間」における実践により、児童生徒の情報活用能力等の学習の基盤となる資質・能力の育成を効果的に図り、生涯にわたって自ら学びを進めていくことができる児童生徒を育てることができる。

（２）教育課程の特例

情報活用能力等の学習の基盤となる資質・能力を体系的に学ぶことができる「情報の時間」の創設。小学校1 年生から中学校3 年生まで、年間35 時間実施する。

（３）研究開発の具体



【図1】研究構想図



【図2】情報活用能力の学習内容の分類

① 学習環境の変化に伴って変わる日々の指導内容

本研究開発の取り組みでは、問題解決的な学習を充実させるために必要な資質・能力である情報活用能力を育成し、様々な学習場面で発揮するための指導内容と配列を精査する。また、指導内容はクラウド環境下で一人一台の学習用端末を活用するようになって以来、必要性が高まっているものや、新たに必要になっているものも含めて精査した。

② 情報活用能力について

本研究開発では、1人1台端末及びクラウド環境を前提とした各教科等の学習を進める上で基盤となる「情報活用能力」を「情報社会に参画する態度」「情報手段の基本的な操作」「問題解決能力の基礎等」「情報の技術」の4要素で情報活用能力を構成することとした(図1)。

③ 教育課程の概要

ア 教育課程の特徴

小学校から中学校までの9年間を見通して継続的に情報活用能力を中心とする資質・能力を育成するための教育課程を編成していく(別添2)。

イ 情報活用能力体系表

【表1】情報活用能力の系統表「情報社会に参画する態度」

項目	低学年	中学年	高学年	中学校
情報社会の倫理	自分や人の考えやつくったものを大切にしようする	情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する。	情報社会における自分の責任や義務について考えて行動する 個人の権利や、知的財産権を尊重する	情報社会において、責任ある態度をとり、義務を果たす 望ましい情報社会の創造に参画しようとする
健康・安全への知恵	情報機器を生活の中で正しく使う	メディアとの関わりを意識して正しく使う	メディアの特性を理解してその良さを活かすことができる	情報の信頼性を吟味することができる。 自他の安全面に配慮した情報メディアとの関わりを意識して行動できる
法の理解	人がつくったものを扱うときのルールがあることを知る	人がつくったものを扱うためのルールや決まりを守ることの社会的意味を知り尊重する	情報を適切に取り扱うための法律があることを知り、法律を守って生活する	情報社会で活動するために守るべきルールや法律を理解して適切に行動する
セキュリティ	人に教えてよい情報と教えてはいけない情報があることを知る	自分の情報を守るための仕組みがあることを知る	情報セキュリティの基本的な知識について理解する	情報セキュリティの基本的な知識について理解した上で、情報の安全を確保するために必要な判断や対応ができる

【表2】情報活用能力の系統表「情報手段の基本的な操作等」

項目	低学年	中学年	高学年	中学校
入力	様々な手段(手書き入力等)で入力できる	正確にローマ字入力できる	速く正確にローマ字入力できる	必要な入力操作を身体的に行うことができる
アプリ	オンラインツールを体験する	オンラインツールを活用できる	オンラインツールを効果的に活用する 連絡・情報共有アプリを活用できる	オンラインツールを目的に合わせて自由自在に活用できる
共同編集	共同編集を体験する	共同編集で作品をつくることのできる データを共有できる (classroom 以外)	コメント機能を効果的に使い作品をつくる 方法を選択してデータを共有できる (権限設定)	クラウドの仕組みを理解し、互いに学習の過程を参照したり、共同編集したりしながら学習を進めることができる

基礎操作	起動やログイン等基礎的な操作ができる (タッチパッド操作、タッチ操作、カメラ)	設定やアクセシビリティを理解できる (明るさ、ショートカット、スクリーンショット)	設定を工夫して活用できる (2画面・タブの整理) ・動画や画像の編集	自身の特性に合った設定をして活用できる
------	--	--	--	---------------------

【表3】情報活用能力の系統表「問題解決の基礎等」

項目	低学年	中学年	高学年	中学校
課題の設定	教師が提示した複数の課題から自分の課題を選択できる	教師が提示した大きな課題をもとに自分の課題を設定できる ＜中核となる方法＞ ・予想の検討	疑問や興味・関心に基づいて、自ら課題を設定できる ＜中核となる方法＞ ・課題の共有	事物・事象、日常の中から問題を見出し、解決可能な課題を設定できる ＜中核となる方法＞ ・KJ法、ブレインストーミング法 ・仮説の設定
情報の収集	○教師が与えた資料から情報を収集できる ○伝えるために必要な事柄を集めることができる ＜中核となる方法＞ ・五感、図書館、写真・動画、インタビュー	○教師が示した複数の方法から選択して情報を収集できる ○目的に合った情報を収集することができる ＜中核となる方法＞ ・インターネット検索、教科書	○目的を踏まえ、方法を選択したり組み合わせたりして情報を収集できる ○情報の信頼性や妥当性を吟味し、適切に情報を収集することができる ＜中核となる方法＞ ・アンケート調査、実験 ・メディアの特性理解	○目的を踏まえ、情報収集の計画を立てた上で複数のメディアから情報を収集できる ○より効果的・効率的に情報を収集をすることができる ＜中核となる方法＞ ・報告書（国や諸機関等）、論文、史料 ・一次情報と二次情報の理解
整理・分析	教師が準備した枠組み（図表、思考ツール）で整理できる ＜中核となる方法＞ ・比較する	教師が準備した枠組みから選択して整理・分析できる ＜中核となる方法＞ ・多面的にみる ・思考ツール ・表・グラフ作成（スプレッドシート）	目的を踏まえ、方法を選択したり組み合わせたりして情報を整理し、そこから傾向を読み取ったり因果関係を見つけたりすることができる ＜中核となる方法＞ ・関連付ける、分類する、抽象化する等 ・メディアの特性理解	目的を踏まえ、整理・分析の計画を立てた上で情報を整理し、事実（結果）と解釈（考察）に留意してデータを読むことができる ＜中核となる方法＞ ・クロス集計 ・ヒストグラム、箱ひげ図 ・相関分析
まとめ	相手に合った方法でまとめることができる ＜中核となる方法＞ ・絵と文 ・作文	相手や目的に合った方法でまとめることができる ＜中核となる方法＞ ・ポスター ・新聞（ドキュメント）	相手や目的に合った方法で、より効果的なものとなるよう工夫（デザイン等）してまとめることができる ＜中核となる方法＞ ・サイト、レポート ・メディアの特性理解	よりメディアの特性を踏まえた上で相手や目的に合った方法を計画し、効果的なものとなるよう工夫してまとめることができる ＜中核となる方法＞ ・論文、動画 ・事実と解釈の弁別と思考の過程の明確化 ・概念の定義と言葉の正確な使い分け
説明・発表	相手に合った方法で説明・発表できる ＜中核となる方法＞ ・スピーチ ※資料を見せながら	相手や目的に合った方法で説明・発表できる ＜中核となる方法＞ ・プレゼンテーション（スライド） ※資料を指し示しながら	相手や目的に合った方法で、より効果的なものとなるよう工夫（デザイン等）して説明・発表できる ＜中核となる方法＞ ・説明、発表、対話の技法 ・メディアの特性理解	よりメディアの特性を踏まえた上で相手や目的に合った方法を計画し、効果的なものとなるよう工夫して説明・発表できる ＜中核となる方法＞ ・議論（ディスカッション） ・事実と解釈の弁別と思考の過程の明確化 ・概念の定義と言葉の正確な使い分け

振り返り	学習内容を振り返ることができる ＜中核となる方法＞ ・振り返りシート	学習内容と学習方法（学び方）の両面から振り返り、自らの学習を評価・改善できる ＜中核となる方法＞ ・振り返りの共有 ・シンキングサイクルの認知	問題解決全体について学習内容と学習方法の両面から振り返り、自らの学習を評価・改善できる ＜中核となる方法＞ ・シンキングサイクルの枠組みによる振り返り ・単元や学期レベルでの抽象度の高い振り返り	問題解決全体における結果とプロセスについて、学習内容と学習方法の両面から振り返り、自らの学習を評価・改善できる ＜中核となる方法＞ ・振り返りの相互評価 ・他者評価 ・メタ認知の理解
------	--	--	--	---

【表４】情報活用能力の系統表「情報技術」

項目	低学年	中学年	高学年	中学校
プログラミング	身の回りにコンピュータで命令されているものがたくさんあることに気づくとともに、簡単なプログラミングを体験する	アプリやプログラミングソフト等を使用し、簡単なプログラムを作ることができる	プログラミングを活用して、身近な生活で使える便利なものを作り、その手順を説明できる	課題や条件、目的に合わせて、アプリやプログラミングソフト等を自ら選択し、プログラミングすることができる
情報科学（データ分析）	データの保存や管理について知る	様々なデジタルデータの特性を知る	デジタルデータを編集、加工、複製できることを知る	様々なデジタルデータを問題解決に活用できる
情報科学（情報通信技術）	コンピュータの簡単な仕組みや各部の名称を知る	インターネット（クラウド）の仕組みを知る	情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解する	情報通信技術が様々な問題解決に活かされることを理解する

ウ 配列と時数について

ａ 配列について

本教育課程では、各学年の児童生徒の発達段階に合わせて意図的に要素ごとの内容の扱いに軽重をつけている。

ｂ 時数について

（ａ）時数の割り当てについて

問題解決的な学習を進める上で必要な資質・能力である情報活用能力を育てるということに焦点化し、「情報の時間」の成果を各教科の学習をはじめ様々な学習活動に発揮できるようにすることや、時間割の編成のしやすさを考慮し、各学年とも年間 35 時間（小 1 は 34 時間）配当した。

（ｂ）時数の移設について

小中学校では年間 35 時間を、どの教科から移設するのかについては若干の考え方に違いがあるため、特徴的な点を以下に述べる。

（ｂ－１） 小学校における特徴

低学年時は、国語・生活からの移設時間数が多い。中学年になると、社会・算数・理科からの移設数が増加する。高学年になると、国語・社会・算数・理科だけでなく総合的な学習の時間からの移設時間が生まれる。総合的な学習の時間で扱っていた「プログラミング」に関する指導事項等を情報の時間に移設した（別添 1）。

（ｂ－２） 中学校における特徴

第 1 学年・第 2 学年においては、教科として国語からそれぞれ 10 時間以上移設している。第 3 学年においては、社会科から最も多くの時間数を移設している。（別添 1）。

それ以外の教科においても、汎用性のある資質・能力の育成につながる可能性が高い指導内容を情報の時間に組み込むことで、より様々な教科での学習場面の充実が期待される資質・能力の指導が円滑に系統立てて行なわれやすくなった。

④ 教育課程の評価方法の検討について

【表5】教育課程評価の年次計画

1 年次	・児童生徒対象の自由記述アンケートの作成・実施・分析 ・教員対象の自由記述アンケートの作成・実施・分析 ・保護者対象の自由記述アンケートの作成・実施・分析 ・アンケート等の結果と児童生徒の変容をもとにどのような方法で児童生徒の資質能力の育成の状況を見ていくかを検討する。 ・教育課程をもとにした実践の評価計画の作成・実施 ・単元指導計画・評価計画の見直し・改善
2 年次	・児童生徒・保護者・職員へのアンケート ・授業者による授業記録分析と授業後の自己評価 ・公開授業研究会の参加者による実践についてのアンケート ・児童生徒の情報活用能力調査 ※アンケート・情報活用能力調査は、1・2 学期末に全学年で実施
3 年次	・児童生徒・保護者・職員へのアンケート ・授業者による授業記録分析と授業後の自己評価 ・公開授業研究会の参加者による実践についてのアンケート ・児童生徒の情報活用能力調査 ※アンケート・情報活用能力調査は、1・2 学期末に全学年で実施
4 年次	・効果分析のための組織の立ち上げ、検証 ・公開授業研究会を実施し、運営指導委員より評価

⑤ 普及を目指した取り組み

本研究開発の取り組みの目標の一つが、春日井市内で本教育課程を普及させ、実践校を増やすことである。そのため、LMS に単元の流れや1時間ごとの授業の展開を掲載し、クラウド上に保存している。このように校内のみならず校外にも共有できる形にしておくことで、授業実践の方法や指導上の工夫等も共有化されることも視野に入れている。

⑥ 実践

令和5年度からの本格実施に向けて、小学校・中学校でそれぞれいくつかの単元を試行的に運用した。

ア 実施した指導方法等の特徴

- 問題解決的な学習を経験できるような課題設定をする
- 常に教師や児童生徒間で、参照できる環境をつくる
- 実施状況を校内や学校間で共有する
- 各教科や総合的な学習でさらなる発揮の場面を用意する

イ 学習の振り返り

情報の時間の単元の途中や単元の終わりに振り返りの時間を設定し、単元を通した学習そのものが自分の問題解決的な学習にもたらしている効果について児童生徒が記述する。

(4) 年次研究計画

1 年次	「情報の時間」設立に向けた基礎研究・体制づくり ○ 研究開発学校指定の4年間を見通した研究の骨子の作成 ・研究組織の設置 ・各学校、関係機関での研究の方向性の共通理解及び連携の明確化 ・研究計画の作成 ○ 情報活用能力を育成する活動を系統的に行う「情報の時間」の創設について指導内容や年間指導計画の検討 ・1「教科横断的な視点」2「体系的・系統的な育成」3「指導体制の確立」の3
------	---

	点について検討 ・現時点での児童生徒の資質・能力について調査 ・端末を活用した授業の活動事例の収集・検証 ・情報活用能力の系統的な指導方法の検討、特に各学年、各教科等からどの内容・活動を「情報の時間」として行うことが効果的か系統性を十分に検討 ・教材の共有方法の検討 ・今後の核となる教員の育成方法の検討 ○ 評価方法の検討 ・児童生徒、学校、学校関係機関、保護者等による評価のあり方の検討 ・情報活用能力調査の実施 ・評価の観点、評価方法の検討 ・第1年次の成果と課題のまとめ及び第2年次以降の計画の修正 ・校内授業研究における評価 ○ 研究について保護者への説明・協力依頼
2年次	「情報の時間」の先行実施及び教育課程の検討・評価・改善 ○ 「情報の時間」教育課程の実施・評価・改善 ・「情報の時間」教育課程表・「情報の時間」の実施に向けて整理した情報活用能力系統表のおもな学習内容案に基づく実践と課題の明確化、改善 ※情報活用能力の中でも「学習の基盤となる資質・能力」となる広くてベーシックな領域に関する知識・技能の部分の育成を中心に取り組んでいくが、専門性が高い領域については、どの部分まで扱うとよいのかを実践を通して検討していく。 ※特に、他教科との重なりについては、十分に検討をしていく。 ・1人1台端末の活用事例を学年別・育成すべき能力別等に体系化 ※作成した教育課程をもとに授業実践を進める中で、その単元でどのような知識・技能が身に付いたのかを、できるだけ細かく明確にし、最終的に身につけるべき知識・技能をリストアップして、情報活用能力を具体的に整理していく。 ・評価規準・評価観点の見直し ・情報活用能力の育成に関する効果の検証 ○ 評価の実施 ・児童生徒による1人1台端末の活用に関する自己評価 ・情報活用能力調査の実施 ・公開授業研究会における評価 ・第2年次の成果と課題のまとめ及び第3年次以降の計画の修正 ※情報の時間で育んだ資質・能力が、身に付いたかどうかを児童生徒の自己評価と教師の見取りで進めていく。さらに、各教科の中で十分に発揮されているのかどうかという視点でも進めていく。
3年次	「情報の時間」の実施・評価・改善 ○ 教育課程の実施・評価・改善 ・低学年・中学年・高学年・中学校における教科横断的な視点による体系的・系統的な情報活用能力の育成を推進する1人1台端末活用の指導方法の検証 ・評価規準・評価観点の見直し ・情報活用能力の育成に関する効果の検証 ○ 評価の実施

	・児童生徒による１人１台端末の活用に関する自己評価 ・情報活用能力調査の実施 ・公開授業研究会における評価 ・第３年次の成果と課題のまとめ及び第４年次の計画作成 ○ 系統的な指導法の資料作成
４年次	「情報の時間」の完全実施及び研究の成果と課題 ○ 教育課程の実施・評価・改善 ・低学年・中学年・高学年・中学校における教科横断的な視点による体系的・系統的な情報活用能力の育成を推進する１人１台端末活用の指導方法についてのまとめ ・情報活用能力の育成における評価 ・市内他校での導入及び普及についての検討 ・研究成果を学習指導要領の形式でまとめる。 ○ 評価の実施 ・情報活用能力調査の実施 ・公開授業研究会における評価 ・児童生徒、教員、関係機関、保護者等の意識調査及び分析 ・成果と課題のまとめ及び一般化・汎用化のための提案

５ 研究開発の結果及びその分析

児童生徒、教師、保護者に自由記述で回答するアンケートを実施した。

自由記述１つの自由記述であっても、その内容から複数の項目に振り分けられると判断したものは、複数項目の件数として計上している。

（１） 児童生徒への効果

質問：以前に比べて授業中にどんなことができるようになったか。

① 小学校

【表６】アンケートの自由記述の分類 n=205

分類	端末の活用	共有や参照	課題の設定	情報の収集	情報の整理・分析	まとめ	説明・発表	議論する	目標、振り返り、見直し
件数	65	26	19	31	46	31	56	40	40

② 中学校

【表７】アンケートの自由記述の分類 n=248

分類	端末の活用	共有や参照	課題の設定	情報の収集	情報の整理・分析	まとめ	説明・発表	議論する	目標、振り返り、見直し
件数	52	27	10	20	49	36	13	62	28

情報活用能力の中でもとりわけ問題解決の基礎にあたる項目の育成に課題が見られたと考えている。特に「課題の設定」に関わることについて、小学校・中学校ともに「できるようになった」と回答する児童生徒の数は比較的少ない傾向にあったことから、「情報の時間」の中でより明示的に取り扱うとともに、各教科で汎用的に活用させていくことも含めて指導する必要があると考えられる。

(2) 教師への効果

質問：授業などで指導している児童生徒を見て、以前に比べて授業中にどんなことができるようになっていていると感じるか。

① 小学校

【表 8】アンケートの自由記述の分類 n=27

分類	端末の活用	共有・参照	情報の収集	情報の整理・分析	まとめる	説明発表	見直し振り返り
件数	8	2	7	6	8	6	28

② 中学校

【表 9】アンケートの自由記述の分類 n=17

分類	端末の活用	共有・参照	情報の収集	情報の整理・分析	まとめる	説明発表	見直し振り返り
件数	5	5	10	8	5	5	3

本研究開発の取り組み以前から、情報活用能力の育成を各教科で進めてきている。教員の回答結果からも、児童生徒に情報活用能力を意識して育成してきていることがわかる。一方で、教員から見ても児童生徒が「課題の設定」ができるようになっていているという記述は見られなかった。「情報の時間」の教育課程は、先に示したように、単元を通して問題解決をする過程を経験できるような設計になっている。問題解決の基礎の指導を進める中でより自覚的に情報活用能力の育成を行い、問題解決の基礎の内の項目一つ一つを相互に作用させながら学習指導を進めていく必要があると考えられる。

(3) 保護者等への効果

質問：児童生徒が、学校の授業でできるようになったと考えていることについてどのように思うか。

① 小学校

【表 10】アンケートの自由記述の分類 n=87

分類	端末の活用	情報の収集	情報の整理・分析	まとめる	説明・発表	議論話し合う	自立
件数	9	0	4	8	12	1	6

② 中学校

【表 11】アンケートの自由記述の分類 n=43

分類	端末の活用	情報の収集	情報の整理・分析	まとめる	説明・発表	議論・意見	自立
件数	2	8	5	9	7	19	4

小学校・中学校ともに家庭での学習の様子を見た上での記述が散見された。一方で中学生になると小学生に比べて家庭での生徒の様子をもとにした記述が少なかった。学年が上がるにつれて、家庭で生徒の学習の様子が把握されにくくなることが予想される。このことから、保護者に向けて児童生徒の情報活用能力の育成に合わせて高まっていく学習の成果や、その目的や目標について何らかの形で示してさらなる理解を得ていくことが必要だと考えられる。

6 今後の研究開発の方向性

(1) 成果

- ・新たに創設する「情報の時間」の中で系統立てて指導することができるよう、教育課程の初版を編成した。

- ・いくつかの単元を試行的に実施し、成果や課題を修正作業に活かした。
- ・児童生徒や教員、保護者から自由記述という形で情報活用能力の育成について広く意見を聞くとともに、教育課程本体の運用の際に留意する点も明らかにした。
- ・自由記述をもとに教育課程を本格的に実施した際の評価方法を検討した。

（２） 課題と改善方法

① 教育課程の修正

- ・学習の動機付けや同じような内容の活動を意図的に繰り返したり、身に付いているかどうかを児童生徒自身が確認したりする活動がうまく働いているかをよく見定めていく。
- ・自立的に学ぶための学習方法も情報の時間において児童生徒に身に付けるべきものと考え、教育課程の修正にあたる。
- ・問題解決的な活動における AI の活用も以前にも増して視野に入れていく。

② 時間割上の工夫と、情報活用能力を育成する教育課程についての教師の理解

- ・本教育課程の市内小中学校への普及を目指し、指導内容や配列だけではなく指導体制や、時間割などについても普及可能な形にしていく。

③ 各教科等で情報活用能力を発揮させる学習観を培う研修についての課題

- ・教師自身が課題解決のために情報活用能力の育成と発揮が必要不可欠性をより理解するよう、研修自体も、教師が持つ課題意識を中心に据えながら、教師自らが学習過程を働かせながら課題解決するようなものにする。

④ 教育課程の評価方法の改善

- ・経年の変化を追うことができるように質問事項と回答方法を工夫する。
- ・他の教科でもアウトプットの過程においてどのように情報活用能力を発揮しているかを、授業中の児童生徒の様子や成果物等から見ていく。
- ・基礎的な知識・技能等が確実に身に付いているかを客観的にとらえながら児童生徒の資質・能力の育成の状況を見ていく。

⑤ 児童生徒、保護者の教育課程への理解を深めること

- ・児童生徒の理解促進のため、教育課程の目的や目標、内容、配列についても児童生徒と共有していく。
- ・保護者の理解促進のため、保護者のニーズに合致していることを、教育課程の目標設定と学習内容を示す際に強調していく。

⑥ 普及に向けた取り組み

- ・両校ともに、近隣の小中学校に働きかけて、「情報の時間」の実践を広げていく。

（３） ２年次の計画

【表 12】 ２年次の研究計画

	「情報の時間」の 教育課程の実施	「情報の時間」の 教育課程評価と修正	普及・研修
1 学期	「情報の時間」の 教育課程の本格的運用	「情報の時間」の 教育課程評価のための 質問紙の作成	実施校での LMS の共有
2 学期		「情報の時間」の 教育課程評価の実施	「情報の時間」に関わる研 修の設計 「情報の時間」に関わる研 修の実施 近隣校での試行的な実施
3 学期		「情報の時間」の 教育課程の修正	

① 出川小学校 教育課程表（令和 5 年度）

	各教科の授業時数										特別 の 教科 道徳	外国 語 活動	総 学 習 的 な 時 間	特別 活動	書 道 科	新 設 教 科 等	総 授 業 時 数
	国 語	社 会	算 数	理 科	生 活	音 楽	図 工	家 庭	体 育	外国 語							
第 1 学 年	262 (-14)		135 (-1)		88 (-10)	68	65 (-3)		102		30 (-4)			32 (-2)	34	34 (+34)	850 (0)
第 2 学 年	270 (-15)		174 (-1)		90 (-10)	70	67 (-3)		105		31 (-4)			33 (-2)	35	35 (+35)	910 (0)
第 3 学 年	205 (-10)	66 (-4)	170 (-5)	85 (-5)		60	60		105		31 (-4)	35	61 (-4)	32 (-3)	35	35 (+35)	980 (0)
第 4 学 年	205 (-10)	86 (-4)	170 (-5)	102 (-3)		60	60		105		31 (-4)	35	59 (-6)	32 (-3)	35	35 (+35)	1015 (0)
第 5 学 年	140 (-5)	97 (-3)	167 (-8)	105		50	50	57 (-3)	87 (-3)	70	31 (-4)		60 (-5)	31 (-4)	35	35 (+35)	1015 (0)
第 6 学 年	137 (-8)	105	170 (-5)	102 (-3)		50	50	52 (-3)	87 (-3)	70	31 (-4)		60 (-5)	31 (-4)	35	35 (+35)	1015 (0)
計	1219 (-62)	354 (-11)	986 (-25)	394 (-11)	178 (-20)	358	352 (-6)	109 (-6)	591 (-6)	140	185 (-24)	70	240 (-20)	191 (-18)	209	209 (+209)	5785 (0)

② 高森台中学校 教育課程表（令和5年度）

	各教科の授業時数									特別 の教科 道徳	総 学合 習的 のな 時間	特別 活動	新設 教科 等	総 授 業 時 数
	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	技 術 ・ 家 庭	外 国 語					
第 1 学 年	126 (-14)	100 (-5)	137 (-3)	102 (-3)	44 (-1)	44 (-1)	105	70	137 (-3)	34 (-1)	47 (-3)	34 (-1)	35 (+35)	1015 (0)
第 2 学 年	125 (-15)	100 (-5)	104 (-1)	137 (-3)	35	35	105	70	137 (-3)	34 (-1)	64 (-6)	34 (-1)	35 (+35)	1015 (0)
第 3 学 年	100 (-5)	127 (-13)	137 (-3)	137 (-3)	35	35	105	35	137 (-3)	34 (-1)	64 (-6)	34 (-1)	35 (+35)	1015 (0)
計	351 (-34)	327 (-23)	378 (-7)	376 (-9)	114 (-1)	114 (-1)	315	175	411 (-9)	102 (-3)	175 (-15)	102 (-3)	105 (+105)	3045 (0)

創設する「情報の時間」の時数確保と各教科等からの移設についての考え方

小学校

	教科	「情報の時間」へ移設する内容等	移設する時間数
1	国語	「情報の扱い方」にあたる部分	各学年 5～15時間
2	社会	「調べる・まとめる」にあたる部分	3～6年 3～4時間
3	算数	「比較・順序・生活の中から見つける」にあたる部分	各学年 1～8時間
4	理科	「プログラミング」にあたる部分	3～6年 3～5時間
5	生活	「情報の扱い方」にあたる部分	1年 10時間 2年 10時間
6	図工	「コンピュータやカメラを用いた表現」にあたる部分	1～2年 3時間
7	道徳	「節度・節制」領域で健康や安全にあたる部分	各学年 4時間
8	総合	既存のカリキュラムのうち、情報活用能力の育成に関わる部分	3～6年 4～6時間
9	特別活動	「課題解決に向けて」の項目にあたる部分	各学年 2～4時間

各領域への振り分け

情報社会に参画する態度(情報モラル等)	道徳より 24時間 特活より 18時間
情報手段の基本的な操作等	国語より 20時間 理科より 4時間 生活より 10時間 図工より 6時間 体育より 6時間 総合より 12時間
問題解決の基礎 ①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ ⑤発表	国語より 42時間 社会より 11時間 算数より 16時間 理科より 4時間 生活より 10時間 家庭より 6時間 総合より 2時間
情報の技術	算数より 9時間 理科より 3時間 総合より 6時間

中学校

	教科	「情報の時間」へ移設する内容等	移設する時間数
1	国語	「情報の扱い方」にあたる部分	各学年 5～15時間
2	社会	「課題の追究を深める内容や活動」にあたる部分	各学年 5～13時間
3	数学	各学年の領域「データの活用」にある、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目してコンピュータなどの情報手段を用いて表やグラフに表現し、適切な手法を選択して分析、考察する内容にあたる部分	各学年 1～3時間
4	理科	観察実験等の計測や記録にあたる部分	各学年 3時間
5	外国語	Stage activity等のプレゼンテーションの活動にあたる部分	各学年 3時間
6	音楽	音楽が感情にもたらす効果の理解にあたる部分	1年 1時間
7	美術	形や色彩が感情にもたらす効果の理解にあたる部分	1年 1時間
8	道德	「情報モラル」に関わる部分	各学年 1時間
9	総合	既存のカリキュラムのうち、情報活用能力の育成に関わる部分	各学年 3～6時間
10	特活	キャリア形成に必要な情報を収集する学習にあたる部分	各学年 1時間

各領域への振り分け

情報社会に参画する態度(情報モラル等)	国語より 7時間 社会より 6時間 道德より 3時間 特活より 3時間 総合より 5時間
情報手段の基本的な操作等	国語より 4時間 社会より 4時間 数学より 1時間 理科より 2時間 外国語より 1時間
問題解決の基礎 ①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ ⑤発表	国語より 23時間 社会より 13時間 数学より 6時間 理科より 7時間 音楽より 1時間 美術より 1時間 総合より 10時間 外国語より 8時間

【別添2】R5年度「情報の時間」教育課程

小学1年

小学1年 情報の時間													教科	小学1年									
月	週	日	時	B1：情報社会に参画する態度（情報モラル等）	B2：情報手段の基本的な操作	B3：問題解決の基礎等	備考	B4：情報の活用	単元名・活動	国語	生活	数学	音楽	図工	体育	道徳	その他						
4月	1			情報の収集	五感				1－1「きょうつー たんてい」 目：五感を使ってものを観察する体験をする 1－5五感を使ってものをかんさつできることを知る。 つええ、ふでばに、下敷きなど、身近にあるものを1つずつ五感を使って観察する。 「触るとどんな感じが？」「色は？形は？」今日で見たかかわったね！」「何が質問にこえるかな？耳を近づけてみよう」など （味覚は給食のとき声をかける。）	えんぴつとながし（鉛筆の持ち方動画）字を書くことともの姿勢動画の視聴）	ときどきわくわく1ねんせい（も）とできようになりたことを発表する）	かずとつうし（もの幅数を比べる）（数値や順番を正しく数えたり表したりする） （シャムの数図ブロックを操作する）											
	2	(0.5)		情報の収集	比較する（異人物と異人物）				1－2「おなじとちがう」 目：2つの異人物を比べ、同じところと違うところを見つける体験をする ①お茶と牛乳、お菓店とプールなど、物や絵を見せる。 同じところと違うところを見つける。 比べるときは同じところと違うところを見付けると知る。 いろいろなのを比べる。	ガッツこだいすき（インタビュ）													
	3	(0.5)		情報の収集	比較する（異人物と異人物）				1－3「どっちがたかい」 目：比べるときは比べることを体験をする ①鉛筆や色鉛筆などを使って、高さ比べをする。 比べるときは、はしを揃えたと知る。 いろいろなものを比べる。 数図ブロックやおはしきなどを使って、どちらが多いか比べる。 比べるときは、そろえてならべるといふと知る。														
	3	(0.5)		整理・分析	分類する				1－4「なかまづくり」 目：物を色によっていろいろな仲間をつくる体験をする ①機、ビンコの色鉛筆、きゅうり、緑の色鉛筆など物や絵を見せる。 なかまをつくる。 色、用途などどのように見点によっていろいろな仲間をつくることのできることを知る。 いろいろなものをなかまをつくる。														
5月	4			情報の収集	自己紹介・スピーチの方法				2「ようこそね」 目：スピーチの体験をする ①スピーチの準備をみる。 決められた項目を視点に、自分について情報収集する。 情報収集に整理して書き出す。 ②図をみながらスピーチの練習をする。 ③全員の前でスピーチする。 ④全員の前でスピーチする。	こんなのみつたえよう（生活科の授業で使ったつたえよう） 2-1番（3）（授業と本業の比較） （2-2番・B3）	きれいにさいてな（写真集） お茶と牛乳（数値や順番を正しく数えたり表したりする）	なんばん（数値や順番を正しく数えたり表したりする）											
	5			整理・分析	メモによるスピーチ																		
	6			友達の発表の尊重																			
	7			自己紹介・スピーチ																			
6月	8			個人情報保護（パスワード、セキュリティ）	個人情報保護（パスワード、セキュリティ）				3「パスワードとセキュリティ」 目：1人1人お茶を使うための初期設定とパスワードの決め方を知る。 ①パスワードの決め方を知る。 ②パスワードの決め方を知る。 ③パスワードの決め方を知る。 ④パスワードの決め方を知る。 ⑤パスワードの決め方を知る。 ⑥パスワードの決め方を知る。 ⑦パスワードの決め方を知る。 ⑧パスワードの決め方を知る。 ⑨パスワードの決め方を知る。 ⑩パスワードの決め方を知る。 ⑪パスワードの決め方を知る。 ⑫パスワードの決め方を知る。 ⑬パスワードの決め方を知る。 ⑭パスワードの決め方を知る。 ⑮パスワードの決め方を知る。 ⑯パスワードの決め方を知る。 ⑰パスワードの決め方を知る。 ⑱パスワードの決め方を知る。 ⑲パスワードの決め方を知る。 ⑳パスワードの決め方を知る。 ㉑パスワードの決め方を知る。 ㉒パスワードの決め方を知る。 ㉓パスワードの決め方を知る。 ㉔パスワードの決め方を知る。 ㉕パスワードの決め方を知る。 ㉖パスワードの決め方を知る。 ㉗パスワードの決め方を知る。 ㉘パスワードの決め方を知る。 ㉙パスワードの決め方を知る。 ㉚パスワードの決め方を知る。 ㉛パスワードの決め方を知る。 ㉜パスワードの決め方を知る。 ㉝パスワードの決め方を知る。 ㉞パスワードの決め方を知る。 ㉟パスワードの決め方を知る。 ㊱パスワードの決め方を知る。 ㊲パスワードの決め方を知る。 ㊳パスワードの決め方を知る。 ㊴パスワードの決め方を知る。 ㊵パスワードの決め方を知る。 ㊶パスワードの決め方を知る。 ㊷パスワードの決め方を知る。 ㊸パスワードの決め方を知る。 ㊹パスワードの決め方を知る。 ㊺パスワードの決め方を知る。 ㊻パスワードの決め方を知る。 ㊼パスワードの決め方を知る。 ㊽パスワードの決め方を知る。 ㊾パスワードの決め方を知る。 ㊿パスワードの決め方を知る。	くちばし（比べる）（2-2番・B3） 使ったつたえよう（生活科の授業で使ったつたえよう） 2-1番（3）（授業と本業の比較） （2-2番・B3）	きれいにさいてな（写真集） お茶と牛乳（数値や順番を正しく数えたり表したりする）	なんばん（数値や順番を正しく数えたり表したりする）											
	9			個人情報保護（パスワード、セキュリティ）	個人情報保護（パスワード、セキュリティ）																		
	10			友達の発表の尊重																			
	11			自己紹介・スピーチ																			
7月	12			個人情報保護（パスワード、セキュリティ）	個人情報保護（パスワード、セキュリティ）				4「パスワードとセキュリティ」 目：1人1人お茶を使うための初期設定とパスワードの決め方を知る。 ①パスワードの決め方を知る。 ②パスワードの決め方を知る。 ③パスワードの決め方を知る。 ④パスワードの決め方を知る。 ⑤パスワードの決め方を知る。 ⑥パスワードの決め方を知る。 ⑦パスワードの決め方を知る。 ⑧パスワードの決め方を知る。 ⑨パスワードの決め方を知る。 ⑩パスワードの決め方を知る。 ⑪パスワードの決め方を知る。 ⑫パスワードの決め方を知る。 ⑬パスワードの決め方を知る。 ⑭パスワードの決め方を知る。 ⑮パスワードの決め方を知る。 ⑯パスワードの決め方を知る。 ⑰パスワードの決め方を知る。 ⑱パスワードの決め方を知る。 ⑲パスワードの決め方を知る。 ⑳パスワードの決め方を知る。 ㉑パスワードの決め方を知る。 ㉒パスワードの決め方を知る。 ㉓パスワードの決め方を知る。 ㉔パスワードの決め方を知る。 ㉕パスワードの決め方を知る。 ㉖パスワードの決め方を知る。 ㉗パスワードの決め方を知る。 ㉘パスワードの決め方を知る。 ㉙パスワードの決め方を知る。 ㉚パスワードの決め方を知る。 ㉛パスワードの決め方を知る。 ㉜パスワードの決め方を知る。 ㉝パスワードの決め方を知る。 ㉞パスワードの決め方を知る。 ㉟パスワードの決め方を知る。 ㊱パスワードの決め方を知る。 ㊲パスワードの決め方を知る。 ㊳パスワードの決め方を知る。 ㊴パスワードの決め方を知る。 ㊵パスワードの決め方を知る。 ㊶パスワードの決め方を知る。 ㊷パスワードの決め方を知る。 ㊸パスワードの決め方を知る。 ㊹パスワードの決め方を知る。 ㊺パスワードの決め方を知る。 ㊻パスワードの決め方を知る。 ㊼パスワードの決め方を知る。 ㊽パスワードの決め方を知る。 ㊾パスワードの決め方を知る。 ㊿パスワードの決め方を知る。	くちばし（比べる）（2-2番・B3） 使ったつたえよう（生活科の授業で使ったつたえよう） 2-1番（3）（授業と本業の比較） （2-2番・B3）	きれいにさいてな（写真集） お茶と牛乳（数値や順番を正しく数えたり表したりする）	なんばん（数値や順番を正しく数えたり表したりする）											
	13			個人情報保護（パスワード、セキュリティ）	個人情報保護（パスワード、セキュリティ）																		
	14			友達の発表の尊重																			
	15			自己紹介・スピーチ																			
8月	16			個人情報保護（パスワード、セキュリティ）	個人情報保護（パスワード、セキュリティ）				5「パスワードとセキュリティ」 目：1人1人お茶を使うための初期設定とパスワードの決め方を知る。 ①パスワードの決め方を知る。 ②パスワードの決め方を知る。 ③パスワードの決め方を知る。 ④パスワードの決め方を知る。 ⑤パスワードの決め方を知る。 ⑥パスワードの決め方を知る。 ⑦パスワードの決め方を知る。 ⑧パスワードの決め方を知る。 ⑨パスワードの決め方を知る。 ⑩パスワードの決め方を知る。 ⑪パスワードの決め方を知る。 ⑫パスワードの決め方を知る。 ⑬パスワードの決め方を知る。 ⑭パスワードの決め方を知る。 ⑮パスワードの決め方を知る。 ⑯パスワードの決め方を知る。 ⑰パスワードの決め方を知る。 ⑱パスワードの決め方を知る。 ⑲パスワードの決め方を知る。 ⑳パスワードの決め方を知る。 ㉑パスワードの決め方を知る。 ㉒パスワードの決め方を知る。 ㉓パスワードの決め方を知る。 ㉔パスワードの決め方を知る。 ㉕パスワードの決め方を知る。 ㉖パスワードの決め方を知る。 ㉗パスワードの決め方を知る。 ㉘パスワードの決め方を知る。 ㉙パスワードの決め方を知る。 ㉚パスワードの決め方を知る。 ㉛パスワードの決め方を知る。 ㉜パスワードの決め方を知る。 ㉝パスワードの決め方を知る。 ㉞パスワードの決め方を知る。 ㉟パスワードの決め方を知る。 ㊱パスワードの決め方を知る。 ㊲パスワードの決め方を知る。 ㊳パスワードの決め方を知る。 ㊴パスワードの決め方を知る。 ㊵パスワードの決め方を知る。 ㊶パスワードの決め方を知る。 ㊷パスワードの決め方を知る。 ㊸パスワードの決め方を知る。 ㊹パスワードの決め方を知る。 ㊺パスワードの決め方を知る。 ㊻パスワードの決め方を知る。 ㊼パスワードの決め方を知る。 ㊽パスワードの決め方を知る。 ㊾パスワードの決め方を知る。 ㊿パスワードの決め方を知る。	くちばし（比べる）（2-2番・B3） 使ったつたえよう（生活科の授業で使ったつたえよう） 2-1番（3）（授業と本業の比較） （2-2番・B3）	きれいにさいてな（写真集） お茶と牛乳（数値や順番を正しく数えたり表したりする）	なんばん（数値や順番を正しく数えたり表したりする）											
	17			個人情報保護（パスワード、セキュリティ）	個人情報保護（パスワード、セキュリティ）																		
	18			友達の発表の尊重																			
	19			自己紹介・スピーチ																			
9月	20			個人情報保護（パスワード、セキュリティ）	個人情報保護（パスワード、セキュリティ）				6「パスワードとセキュリティ」 目：1人1人お茶を使うための初期設定とパスワードの決め方を知る。 ①パスワードの決め方を知る。 ②パスワードの決め方を知る。 ③パスワードの決め方を知る。 ④パスワードの決め方を知る。 ⑤パスワードの決め方を知る。 ⑥パスワードの決め方を知る。 ⑦パスワードの決め方を知る。 ⑧パスワードの決め方を知る。 ⑨パスワードの決め方を知る。 ⑩パスワードの決め方を知る。 ⑪パスワードの決め方を知る。 ⑫パスワードの決め方を知る。 ⑬パスワードの決め方を知る。 ⑭パスワードの決め方を知る。 ⑮パスワードの決め方を知る。 ⑯パスワードの決め方を知る。 ⑰パスワードの決め方を知る。 ⑱パスワードの決め方を知る。 ⑲パスワードの決め方を知る。 ⑳パスワードの決め方を知る。 ㉑パスワードの決め方を知る。 ㉒パスワードの決め方を知る。 ㉓パスワードの決め方を知る。 ㉔パスワードの決め方を知る。 ㉕パスワードの決め方を知る。 ㉖パスワードの決め方を知る。 ㉗パスワードの決め方を知る。 ㉘パスワードの決め方を知る。 ㉙パスワードの決め方を知る。 ㉚パスワードの決め方を知る。 ㉛パスワードの決め方を知る。 ㉜パスワードの決め方を知る。 ㉝パスワードの決め方を知る。 ㉞パスワードの決め方を知る。 ㉟パスワードの決め方を知る。 ㊱パスワードの決め方を知る。 ㊲パスワードの決め方を知る。 ㊳パスワードの決め方を知る。 ㊴パスワードの決め方を知る。 ㊵パスワードの決め方を知る。 ㊶パスワードの決め方を知る。 ㊷パスワードの決め方を知る。 ㊸パスワードの決め方を知る。 ㊹パスワードの決め方を知る。 ㊺パスワードの決め方を知る。 ㊻パスワードの決め方を知る。 ㊼パスワードの決め方を知る。 ㊽パスワードの決め方を知る。 ㊾パスワードの決め方を知る。 ㊿パスワードの決め方を知る。	くちばし（比べる）（2-2番・B3） 使ったつたえよう（生活科の授業で使ったつたえよう） 2-1番（3）（授業と本業の比較） （2-2番・B3）	きれいにさいてな（写真集） お茶と牛乳（数値や順番を正しく数えたり表したりする）	なんばん（数値や順番を正しく数えたり表したりする）											
	21			個人情報保護（パスワード、セキュリティ）	個人情報保護（パスワード、セキュリティ）																		
	22			友達の発表の尊重																			
	23			自己紹介・スピーチ																			
10月	24			個人情報保護（パスワード、セキュリティ）	個人情報保護（パスワード、セキュリティ）				7「パスワードとセキュリティ」 目：1人1人お茶を使うための初期設定とパスワードの決め方を知る。 ①パスワードの決め方を知る。 ②パスワードの決め方を知る。 ③パスワードの決め方を知る。 ④パスワードの決め方を知る。 ⑤パスワードの決め方を知る。 ⑥パスワードの決め方を知る。 ⑦パスワードの決め方を知る。 ⑧パスワードの決め方を知る。 ⑨パスワードの決め方を知る。 ⑩パスワードの決め方を知る。 ⑪パスワードの決め方を知る。 ⑫パスワードの決め方を知る。 ⑬パスワードの決め方を知る。 ⑭パスワードの決め方を知る。 ⑮パスワードの決め方を知る。 ⑯パスワードの決め方を知る。 ⑰パスワードの決め方を知る。 ⑱パスワードの決め方を知る。 ⑲パスワードの決め方を知る。 ⑳パスワードの決め方を知る。 ㉑パスワードの決め方を知る。 ㉒パスワードの決め方を知る。 ㉓パスワードの決め方を知る。 ㉔パスワードの決め方を知る。 ㉕パスワードの決め方を知る。 ㉖パスワードの決め方を知る。 ㉗パスワードの決め方を知る。 ㉘パスワードの決め方を知る。 ㉙パスワードの決め方を知る。 ㉚パスワードの決め方を知る。 ㉛パスワードの決め方を知る。 ㉜パスワードの決め方を知る。 ㉝パスワードの決め方を知る。 ㉞パスワードの決め方を知る。 ㉟パスワードの決め方を知る。 ㊱パスワードの決め方を知る。 ㊲パスワードの決め方を知る。 ㊳パスワードの決め方を知る。 ㊴パスワードの決め方を知る。 ㊵パスワードの決め方を知る。 ㊶パスワードの決め方を知る。 ㊷パスワードの決め方を知る。 ㊸パスワードの決め方を知る。 ㊹パスワードの決め方を知る。 ㊺パスワードの決め方を知る。 ㊻パスワードの決め方を知る。 ㊼パスワードの決め方を知る。 ㊽パスワードの決め方を知る。 ㊾パスワードの決め方を知る。 ㊿パスワードの決め方を知る。	くちばし（比べる）（2-2番・B3） 使ったつたえよう（生活科の授業で使ったつたえよう） 2-1番（3）（授業と本業の比較） （2-2番・B3）	きれいにさいてな（写真集） お茶と牛乳（数値や順番を正しく数えたり表したりする）	なんばん（数値や順番を正しく数えたり表したりする）											
	25			個人情報保護（パスワード、セキュリティ）	個人情報保護（パスワード、セキュリティ）																		
	26			友達の発表の尊重																			
	27			自己紹介・スピーチ																			
11月	28			個人情報保護（パスワード、セキュリティ）	個人情報保護（パスワード、セキュリティ）				8「パスワードとセキュリティ」 目：1人1人お茶を使うための初期設定とパスワードの決め方を知る。 ①パスワードの決め方を知る。 ②パスワードの決め方を知る。 ③パスワードの決め方を知る。 ④パスワードの決め方を知る。 ⑤パスワードの決め方を知る。 ⑥パスワードの決め方を知る。 ⑦パスワードの決め方を知る。 ⑧パスワードの決め方を知る。 ⑨パスワードの決め方を知る。 ⑩パスワードの決め方を知る。 ⑪パスワードの決め方を知る。 ⑫パスワードの決め方を知る。 ⑬パスワードの決め方を知る。 ⑭パスワードの決め方を知る。 ⑮パスワードの決め方を知る。 ⑯パスワードの決め方を知る。 ⑰パスワードの決め方を知る。 ⑱パスワードの決め方を知る。 ⑲パスワードの決め方を知る。 ⑳パスワードの決め方を知る。 ㉑パスワードの決め方を知る。 ㉒パスワードの決め方を知る。 ㉓パスワードの決め方を知る。 ㉔パスワードの決め方を知る。 ㉕パスワードの決め方を知る。 ㉖パスワードの決め方を知る。 ㉗パスワードの決め方を知る。 ㉘パスワードの決め方を知る。 ㉙パスワードの決め方を知る。 ㉚パスワードの決め方を知る。 ㉛パスワードの決め方を知る。 ㉜パスワードの決め方を知る。 ㉝パスワードの決め方を知る。 ㉞パスワードの決め方を知る。 ㉟パスワードの決め方を知る。 ㊱パスワードの決め方を知る。 ㊲パスワードの決め方を知る。 ㊳パスワードの決め方を知る。 ㊴パスワードの決め方を知る。 ㊵パスワードの決め方を知る。 ㊶パスワードの決め方を知る。 ㊷パスワードの決め方を知る。 ㊸パスワードの決め方を知る。 ㊹パスワードの決め方を知る。 ㊺パスワードの決め方を知る。 ㊻パスワードの決め方を知る。 ㊼パスワードの決め方を知る。 ㊽パスワードの決め方を知る。 ㊾パスワードの決め方を知る。 ㊿パスワードの決め方を知る。	くちばし（比べる）（2-2番・B3） 使ったつたえよう（生活科の授業で使ったつたえよう） 2-1番（3）（授業と本業の比較） （2-2番・B3）	きれいにさいてな（写真集） お茶と牛乳（数値や順番を正しく数えたり表したりする）	なんばん（数値や順番を正しく数えたり表したりする）											
	29			個人情報保護（パスワード、セキュリティ）	個人情報保護（パスワード、セキュリティ）																		
	30			友達の発表の尊重																			
	31			自己紹介・スピーチ																			
12月	32			個人情報保護（パスワード、セキュリティ）	個人情報保護（パスワード、セキュリティ）				9「パスワードとセキュリティ」 目：1人1人お茶を使うための初期設定とパスワードの決め方を知る。 ①パスワードの決め方を知る。 ②パスワードの決め方を知る。 ③パスワードの決め方を知る。 ④パスワードの決め方を知る。 ⑤パスワードの決め方を知る。 ⑥パスワードの決め方を知る。 ⑦パスワードの決め方を知る。 ⑧パスワードの決め方を知る。 ⑨パスワードの決め方を知る。 ⑩パスワードの決め方を知る。 ⑪パスワードの決め方を知る。 ⑫パスワードの決め方を知る。 ⑬パスワードの決め方を知る。 ⑭パスワードの決め方を知る。 ⑮パスワードの決め方を知る。 ⑯パスワードの決め方を知る。 ⑰パスワードの決め方を知る。 ⑱パスワードの決め方を知る。 ⑲パスワードの決め方を知る。 ⑳パスワードの決め方を知る。 ㉑パスワードの決め方を知る。 ㉒パスワードの決め方を知る。 ㉓パスワードの決め方を知る。 ㉔パスワードの決め方を知る。 ㉕パスワードの決め方を知る。 ㉖パスワードの決め方を知る。 ㉗パスワードの決め方を知る。 ㉘パスワードの決め方を知る。 ㉙パスワードの決め方を知る。 ㉚パスワードの決め方を知る。 ㉛パスワードの決め方を知る。 ㉜パスワードの決め方を知る。 ㉝パスワードの決め方を知る。 ㉞パスワードの決め方を知る。 ㉟パスワードの決め方を知る。 ㊱パスワードの決め方を知る。 ㊲パスワードの決め方を知る。 ㊳パスワードの決め方を知る。 ㊴パスワードの決め方を知る。 ㊵パスワードの決め方を知る。 ㊶パスワードの決め方を知る。 ㊷パスワードの決め方を知る。 ㊸パスワードの決め方を知る。 ㊹パスワードの決め方を知る。 ㊺パスワードの決め方を知る。 ㊻パスワードの決め方を知る。 ㊼パスワードの決め方を知る。 ㊽パスワードの決め方を知る。 ㊾パスワードの決め方を知る。 ㊿パスワードの決め方を知る。	くちばし（比べる）（2-2番・B3） 使ったつたえよう（生活科の授業で使ったつたえよう） 2-1番（3）（授業と本業の比較） （2-2番・B3）	きれいにさいてな（写真集） お茶と牛乳（数値や順番を正しく数えたり表したりする）	なんばん（数値や順番を正しく数えたり表したりする）											
	33			個人情報保護（パスワード、セキュリティ）	個人情報保護（パスワード、セキュリティ）																		
	34			友達の発表の尊重																			
	35			自己紹介・スピーチ																			

[illegible]

【別添2】R5年度「情報の時間」教育課程

小学3年

[illegible]

【別添2】R5年度「情報の時間」教育課程

小学4年

[illegible]

【別添2】R5年度「情報の時間」教育課程

小学5年

[illegible]

【別添2】R5年度「情報の時間」教育課程

小学6年

[illegible]

中学1年 情報の時間								教科										中学1年
月	週	B1：情報社会に参画する態度（情報モラル等）	B2：情報手段の基本的な操作	B3：問題解決の基礎等	備考	B4：情報の活用	単元名・活動	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	体育	技術	家庭	英語	総合
4月	1	パソコン利用の目的とルール		学習の目的の理解	情報の時間とつける力		1.スライドを作って、自分が通う中学校の特色を伝えよう ①情報の時間の目的を知る。リフレクションの目的を知る。 ②課題を設定と仮説立ての方法を知り練習する。		世界の姿勢統計資料の使い方 29週・B3				自然の形や色を見つめて（鉛筆の使い方・葉物野菜のスケッチ・動画の利用） 25週・B3				New School, New Friends 自分が普段よくすることや、できることを伝えよう。（スライド） 9-11週・B3	探究
	2			課題の設定	課題の設定と仮説の立て方を知る													
	3			課題の設定	仮説を立てる													
5月	4		ウェブサイトの使い方	情報の収集	ウェブサイトをを使った情報収集の仕方を知る		情報整理のレッスン（比較・分析） 7週・B3 情報を整理して書く（伝えたいことを明確にして説明する。） 11週・B3	世界各地の人々の生活と環境（多面的多角的に考察する）・比較して考察する 6,7週・B3			植物の分類 動物の分類（比較分類して考察する） 7週・B3						インタビューしよう・質問する・紹介しよう（16週・B3）	
	5	目的の保持		情報の収集	課題に合わせてwebサイトから情報を収集する													
	6			整理・分析	情報を多面的多角的に見る練習													
	7			整理・分析	情報を比較して見る練習													
6月	8			整理・分析	学校の情報を整理分析する		①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿㏀㏁㏂㏃㏄㏅㏆㏇㏈㏉㏊㏋㏌㏍㏎㏏㏐㏑㏒㏓㏔㏕㏖㏗㏘㏙㏚㏛㏜㏝㏞㏟㏠㏡㏢㏣㏤㏥㏦㏧㏨㏩㏪㏫㏬㏭㏮㏯㏰㏱㏲㏳㏴㏵㏶㏷㏸㏹㏺㏻㏼㏽㏾㏿㐀㐁㐂㐃㐄㐅㐆㐇㐈㐉㐊㐋㐌㐍㐎㐏㐐㐑㐒㐓㐔㐕㐖㐗㐘㐙㐚㐛㐜㐝㐞㐟㐠㐡㐢㐣㐤㐥㐦㐧㐨㐩㐪㐫㐬㐭㐮㐯㐰㐱㐲㐳㐴㐵㐶㐷㐸㐹㐺㐻㐼㐽㐾㐿㑀㑁㑂㑃㑄㑅㑆㑇㑈㑉㑊㑋㑌㑍㑎㑏㑐㑑㑒㑓㑔㑕㑖㑗㑘㑙㑚㑛㑜㑝㑞㑟㑠㑡㑢㑣㑤㑥㑦㑧㑨㑩㑪㑫㑬㑭㑮㑯㑰㑱㑲㑳㑴㑵㑶㑷㑸㑹㑺㑻㑼㑽㑾㑿㒀㒁㒂㒃㒄㒅㒆㒇㒉㒊㒋㒌㒍㒎㒏㒐㒑㒒㒓㒔㒕㒖㒗㒘㒙㒚㒛㒜㒝㒞㒟㒠㒡㒢㒣㒤㒥㒦㒧㒨㒩㒪㒫㒬㒭㒮㒯㒰㒱㒲㒳㒴㒵㒶㒷㒸㒹㒺㒻㒼㒽㒾㒿㓀㓁㓂㓃㓄㓅㓆㓇㓈㓉㓊㓋㓌㓍㓎㓏㓐㓑㓒㓓㓔㓕㓖㓗㓘㓙㓚㓛㓜㓝㓞㓟㓠㓡㓢㓣㓤㓥㓦㓧㓨㓩㓪㓫㓬㓭㓮㓯㓰㓱㓲㓳㓴㓵㓶㓷㓸㓹㓺㓻㓼㓽㓾㓿㔀㔁㔂㔃㔄㔅㔆㔇㔈㔉㔊㔋㔌㔍㔎㔏㔐㔑㔒㔓㔔㔕㔖㔗㔘㔙㔚㔛㔜㔝㔞㔟㔠㔡㔢㔣㔤㔥㔦㔧㔨㔩㔪㔫㔬㔭㔮㔯㔰㔱㔲㔳㔴㔵㔶㔷㔸㔹㔺㔻㔼㔽㔾㔿㕀㕁㕂㕃㕄㕅㕆㕇㕈㕉㕊㕋㕌㕍㕎㕏㕐㕑㕒㕓㕔㕕㕖㕗㕘㕙㕚㕛㕜㕝㕞㕟㕠㕡㕢㕣㕤㕥㕦㕧㕨㕩㕪㕫㕬㕭㕮㕯㕰㕱㕲㕳㕴㕵㕶㕷㕸㕹㕺㕻㕼㕽㕾㕿㖀㖁㖂㖃㖄㖅㖆㖇㖈㖉㖊㖋㖌㖍㖎㖏㖐㖑㖒㖓㖔㖕㖖㖗㖘㖙㖚㖛㖜㖝㖞㖟㖠㖡㖢㖣㖤㖥㖦㖧㖨㖩㖪㖫㖬㖭㖮㖯㖰㖱㖲㖳㖴㖵㖶㖷㖸㖹㖺㖻㖼㖽㖾㖿㗀㗁㗂㗃㗄㗅㗆㗇㗈㗉㗊㗋㗌㗍㗎㗏㗐㗑㗒㗓㗔㗕㗖㗗㗘㗙㗚㗛㗜㗝㗞㗟㗠㗡㗢㗣㗤㗥㗦㗧㗨㗩㗪㗫㗬㗭㗮㗯㗰㗱㗲㗳㗴㗵㗶㗷㗸㗹㗺㗻㗼㗽㗾㗿㘀㘁㘂㘃㘄㘅㘆㘇㘈㘉㘊㘋㘌㘍㘎㘏㘐㘑㘒㘓㘔㘕㘖㘗㘘㘙㘚㘛㘜㘝㘞㘟㘠㘡㘢㘣㘤㘥㘦㘧㘨㘩㘪㘫㘬㘭㘮㘯㘰㘱㘲㘳㘴㘵㘶㘷㘸㘹㘺㘻㘼㘽㘾㘿㙀㙁㙂㙃㙄㙅㙆㙇㙈㙉㙊㙋㙌㙍㙎㙏㙐㙑㙒㙓㙔㙕㙖㙗㙘㙙㙚㙛㙜㙝㙞㙟㙠㙡㙢㙣㙤㙥㙦㙧㙨㙩㙪㙫㙬㙭㙮㙯㙰㙱㙲㙳㙴㙵㙶㙷㙸㙹㙺㙻㙼㙽㙾㙿㚀㚁㚂㚃㚄㚅㚆㚇㚈㚉㚊㚋㚌㚍㚎㚏㚐㚑㚒㚓㚔㚕㚖㚗㚘㚙㚚㚛㚜㚝㚞㚟㚠㚡㚢㚣㚤㚥㚦㚧㚨㚩㚪㚫㚬㚭㚮㚯㚰㚱㚲㚳㚴㚵㚶㚷㚸㚹㚺㚻㚼㚽㚾㚿㜀㜁㜂㜃㜄㜅㜆㜇㜈㜉㜊㜋㜌㜍㜎㜏㜐㜑㜒㜓㜔㜕㜖㜗㜘㜙㜚㜛㜜㜝㜞㜟㜠㜡㜢㜣㜤㜥㜦㜧㜨㜩㜪㜫㜬㜭㜮㜯㜰㜱㜲㜳㜴㜵㜶㜷㜸㜹㜺㜻㜼㜽㜾㜿㝀㝁㝂㝃㝄㝅㝆㝇㝈㝉㝊㝋㝌㝍㝎㝏㝐㝑㝒㝓㝔㝕㝖㝗㝘㝙㝚㝛㝜㝝㝞㝟㝠㝡㝢㝣㝤㝥㝦㝧㝨㝩㝪㝫㝬㝭㝮㝯㝰㝱㝲㝳㝴㝵㝶㝷㝸㝹㝺㝻㝼㝽㝾㝿㞀㞁㞂㞃㞄㞅㞆㞇㞈㞉㞊㞋㞌㞍㞎㞏㞐㞑㞒㞓㞔㞕㞖㞗㞘㞙㞚㞛㞜㞝㞞㞟㞠㞡㞢㞣㞤㞥㞦㞧㞨㞩㞪㞫㞬㞭㞮㞯㞰㞱㞲㞳㞴㞵㞶㞷㞸㞹㞺㞻㞼㞽㞾㞿㟀㟁㟂㟃㟄㟅㟆㟇㟈㟉㟊㟋㟌㟍㟎㟏㟐㟑㟒㟓㟔㟕㟖㟗㟘㟙㟚㟛㟜㟝㟞㟟㟠㟡㟢㟣㟤㟥㟦㟧㟨㟩㟪㟫㟬㟭㟮㟯㟰㟱㟲㟳㟴㟵㟶㟷㟸㟹㟺㟻㟼㟽㟾㟿㠀㠁㠂㠃㠄㠅㠆㠇㠈㠉㠊㠋㠌㠍㠎㠏㠐㠑㠒㠓㠔㠕㠖㠗㠘㠙㠚㠛㠜㠝㠞㠟㠠㠡㠢㠣㠤㠥㠦㠧㠨㠩㠪㠫㠬㠭㠮㠯㠰㠱㠲㠳㠴㠵㠶㠷㠸㠹㠺㠻㠼㠽㠾㠿㡀㡁㡂㡃㡄㡅㡆㡇㡈㡉㡊㡋㡌㡍㡎㡏㡐㡑㡒㡓㡔㡕㡖㡗㡘㡙㡚㡛㡜㡝㡞㡟㡠㡡㡢㡣㡤㡥㡦㡧㡨㡩㡪㡫㡬㡭㡮㡯㡰㡱㡲㡳㡴㡵㡶㡷㡸㡹㡺㡻㡼㡽㡾㡿㢀㢁㢂㢃㢄㢅㢆㢇㢈㢉㢊㢋㢌㢍㢎㢏㢐㢑㢒㢓㢔㢕㢖㢗㢘㢙㢚㢛㢜㢝㢞㢟㢠㢡㢢㢣㢤㢥㢦㢧㢨㢩㢪㢫㢬㢭㢮㢯㢰㢱㢲㢳㢴㢵㢶㢷㢸㢹㢺㢻㢼㢽㢾㢿㣀㣁㣂㣃㣄㣅㣆㣇㣈㣉㣊㣋㣌㣍㣎㣏㣐㣑㣒㣓㣔㣕㣖㣗㣘㣙㣚㣛㣜㣝㣞㣟㣠㣡㣢㣣㣤㣥㣦㣧㣨㣩㣪㣫㣬㣭㣮㣯㣰㣱㣲㣳㣴㣵㣶㣷㣸㣹㣺㣻㣼㣽㣾㣿㤀㤁㤂㤃㤄㤅㤆㤇㤈㤉㤊㤋㤌㤍㤎㤏㤐㤑㤒㤓㤔㤕㤖㤗㤘㤙㤚㤛㤜㤝㤞㤟㤠㤡㤢㤣㤤㤥㤦㤧㤨㤩㤪㤫㤬㤭㤮㤯㤰㤱㤲㤳㤴㤵㤶㤷㤸㤹㤺㤻㤼㤽㤾㤿㥀㥁㥂㥃㥄㥅㥆㥇㥈㥉㥊㥋㥌㥍㥎㥏㥐㥑㥒㥓㥔㥕㥖㥗㥘㥙㥚㥛㥜㥝㥞㥟㥠㥡㥢㥣㥤㥥㥦㥧㥨㥩㥪㥫㥬㥭㥮㥯㥰㥱㥲㥳㥴㥵㥶㥷㥸㥹㥺㥻㥼㥽㥾㥿㦀㦁㦂㦃㦄㦅㦆㦇㦈㦉㦊㦋㦌㦍㦎㦏㦐㦑㦒㦓㦔㦕㦖㦗㦘㦙㦚㦛㦜㦝㦞㦟㦠㦡㦢㦣㦤㦥㦦㦧㦨㦩㦪㦫㦬㦭㦮㦯㦰㦱㦲㦳㦴㦵㦶㦷㦸㦹㦺㦻㦼㦽㦾㦿㧀㧁㧂㧃㧄㧅㧆㧇㧈㧉㧊㧋㧌㧍㧎㧏㧐㧑㧒㧓㧔㧕㧖㧗㧘㧙㧚㧛㧜㧝㧞㧟㧠㧡㧢㧣㧤㧥㧦㧧㧨㧩㧪㧫㧬㧭㧮㧯㧰㧱㧲㧳㧴㧵㧶㧷㧸㧹㧺㧻㧼㧽㧾㧿㨀㨁㨂㨃㨄㨅㨆㨇㨈㨉㨊㨋㨌㨍㨎㨏㨐㨑㨒㨓㨔㨕㨖㨗㨘㨙㨚㨛㨜㨝㨞㨟㨠㨡㨢㨣㨤㨥㨦㨧㨨㨩㨪㨫㨬㨭㨮㨯㨰㨱㨲㨳㨴㨵㨶㨷㨸㨹㨺㨻㨼㨽㨾㨿㩀㩁㩂㩃㩄㩅㩆㩇㩈㩉㩊㩋㩌㩍㩎㩏㩐㩑㩒㩓㩔㩕㩖㩗㩘㩙㩚㩛㩜㩝㩞㩟㩠㩡㩢㩣㩤㩥㩦㩧㩨㩩㩪㩫㩬㩭㩮㩯㩰㩱㩲㩳㩴㩵㩶㩷㩸㩹㩺㩻㩼㩽㩾㩿㪀㪁㪂㪃㪄㪅㪆㪇㪈㪉㪊㪋㪌㪍㪎㪏㪐㪑㪒㪓㪔㪕㪖㪗㪘㪙㪚㪛㪜㪝㪞㪟㪠㪡㪢㪣㪤㪥㪦㪧㪨㪩㪪㪫㪬㪭㪮㪯㪰㪱㪲㪳㪴㪵㪶㪷㪸㪹㪺㪻㪼㪽㪾㪿㫀㫁㫂㫃㫄㫅㫆㫇㫈㫉㫊㫋㫌㫍㫎㫏㫐㫑㫒㫓㫔㫕㫖㫗㫘㫙㫚㫛㫜㫝㫞㫟㫠㫡㫢㫣㫤㫥㫦㫧㫨㫩㫪㫫㫬㫭㫮㫯㫰㫱㫲㫳㫴㫵㫶㫷㫸㫹㫺㫻㫼㫽㫾㫿㬀㬁㬂㬃㬄㬅㬆㬇㬈㬉㬊㬋㬌㬍㬎㬏㬐㬑㬒㬓㬔㬕㬖㬗㬘㬙㬚㬛㬜㬝㬞㬟㬠㬡㬢㬣㬤㬥㬦㬧㬨㬩㬪㬫㬬㬭㬮㬯㬰㬱㬲㬳㬴㬵㬶㬷㬸㬹㬺㬻㬼㬽㬾㬿㭀㭁㭂㭃㭄㭅㭆㭇㭈㭉㭊㭋㭌㭍㭎㭏㭐㭑㭒㭓㭔㭕㭖㭗㭘㭙㭚㭛㭜㭝㭞㭟㭠㭡㭢㭣㭤㭥㭦㭧㭨㭩㭪㭫㭬㭭㭮㭯㭰㭱㭲㭳㭴㭵㭶㭷㭸㭹㭺㭻㭼㭽㭾㭿㮀㮁㮂㮃㮄㮅㮆㮇㮈㮉㮊㮋㮌㮍㮎㮏㮐㮑㮒㮓㮔㮕㮖㮗㮘㮙㮚㮛㮜㮝㮞㮟㮠㮡㮢㮣㮤㮥㮦㮧㮨㮩㮪㮫㮬㮭㮮㮯㮰㮱㮲㮳㮴㮵㮶㮷㮸㮹㮺㮻㮼㮽㮾㮿㯀㯁㯂㯃㯄㯅㯆㯇㯈㯉㯊㯋㯌㯍㯎㯏㯐㯑㯒㯓㯔㯕㯖㯗㯘㯙㯚㯛㯜㯝㯞㯟㯠㯡㯢㯣㯤㯥㯦㯧㯨㯩㯪㯫㯬㯭㯮㯯㯰㯱㯲㯳㯴㯵㯶㯷㯸㯹㯺㯻㯼㯽㯾㯿㰀㰁㰂㰃㰄㰅㰆㰇㰈㰉㰊㰋㰌㰍㰎㰏㰐㰑㰒㰓㰔㰕㰖㰗㰘㰙㰚㰛㰜㰝㰞㰟㰠㰡㰢㰣㰤㰥㰦㰧㰨㰩㰪㰫㰬㰭㰮㰯㰰㰱㰲㰳㰴㰵㰶㰷㰸㰹㰺㰻㰼㰽㰾㰿㱀㱁㱂㱃㱄㱅㱆㱇㱈㱉㱊㱋㱌㱍㱎㱏㱐㱑㱒㱓㱔㱕㱖㱗㱘㱙㱚㱛㱜㱝㱞㱟㱠㱡㱢㱣㱤㱥㱦㱧㱨㱩㱪㱫㱬㱭㱮㱯㱰㱱㱲㱳㱴㱵㱶㱷㱸㱹㱺㱻㱼㱽㱾㱿㲀㲁㲂㲃㲄㲅㲆㲇㲈㲉㲊㲋㲌㲍㲎㲏㲐㲑㲒㲓㲔㲕㲖㲗㲘㲙㲚㲛㲜㲝㲞㲟㲠㲡㲢㲣㲤㲥㲦㲧㲨㲩㲪㲫㲬㲭㲮㲯㲰㲱㲲㲳㲴㲵㲶㲷㲸㲹㲺㲻㲼㲽㲾㲿㳀㳁㳂㳃㳄㳅㳆㳇㳈㳉㳊㳋㳌㳍㳎㳏㳐㳑㳒㳓㳔㳕㳖㳗㳘㳙㳚㳛㳜㳝㳞㳟㳠㳡㳢㳣㳤㳥㳦㳧㳨㳩㳪㳫㳬㳭㳮㳯㳰㳱㳲㳳㳴㳵㳶㳷㳸㳹㳺㳻㳼㳽㳾㳿㴀㴁㴂㴃㴄㴅㴆㴇㴈㴉㴊㴋㴌㴍㴎㴏㴐㴑㴒㴓㴔㴕㴖㴗㴘㴙㴚㴛㴜㴝㴞㴟㴠㴡㴢㴣㴤㴥㴦㴧㴨㴩㴪㴫㴬㴭㴮㴯㴰㴱㴲㴳㴴㴵㴶㴷㴸㴹㴺㴻㴼㴽㴾㴿㵀㵁㵂㵃㵄㵅㵆㵇㵈㵉㵊㵋㵌㵍㵎㵏㵐㵑㵒㵓㵔㵕㵖㵗㵘㵙㵚㵛㵜㵝㵞㵟㵠㵡㵢㵣㵤㵥㵦㵧㵨㵩㵪㵫㵬㵭㵮㵯㵰㵱㵲㵳㵴㵵㵶㵷㵸㵹㵺㵻㵼㵽㵾㵿㶀㶁㶂㶃㶄㶅㶆㶇㶈㶉㶊㶋㶌㶍㶎㶏㶐㶑㶒㶓㶔㶕㶖㶗㶘㶙㶚㶛㶜㶝㶞㶟㶠㶡㶢㶣㶤㶥㶦㶧㶨㶩㶪㶫㶬㶭㶮㶯㶰㶱㶲㶳㶴㶵㶶㶷㶸㶹㶺㶻㶼㶽㶾㶿㷀㷁㷂㷃㷄㷅㷆㷇㷈㷉㷊㷋㷌㷍㷎㷏㷐㷑㷒㷓㷔㷕㷖㷗㷘㷙㷚㷛㷜㷝㷞㷟㷠㷡㷢㷣㷤㷥㷦㷧㷨㷩㷪㷫㷬㷭㷮㷯㷰㷱㷲㷳㷴㷵㷶㷷㷸㷹㷺㷻㷼㷽㷾㷿㸀㸁㸂㸃㸄㸅㸆㸇㸈㸉㸊㸋㸌㸍㸎㸏㸐㸑㸒㸓㸔㸕㸖㸗㸘㸙㸚㸛㸜㸝㸞㸟㸠㸡㸢㸣㸤㸥㸦㸧㸨㸩㸪㸫㸬㸭㸮㸯㸰㸱㸲㸳㸴㸵㸶㸷㸸㸹㸺㸻㸼㸽㸾㸿㹀㹁㹂㹃㹄㹅㹆㹇㹈㹉㹊㹋㹌㹍㹎㹏㹐㹑㹒㹓㹔㹕㹖㹗㹘㹙㹚㹛㹜㹝㹞㹟㹠㹡㹢㹣㹤㹥㹦㹧㹨㹩㹪㹫㹬㹭㹮㹯㹰㹱㹲㹳㹴㹵㹶㹷㹸㹹㹺㹻㹼㹽㹾㹿㺀㺁㺂㺃㺄㺅㺆㺇㺈㺉㺊㺋㺌㺍㺎㺏㺐㺑㺒㺓㺔㺕㺖㺗㺘㺙㺚㺛㺜㺝㺞㺟㺠㺡㺢㺣㺤㺥㺦㺧㺨㺩㺪㺫㺬㺭㺮㺯㺰㺱㺲㺳㺴㺵㺶㺷㺸㺹㺺㺻㺼㺽㺾㺿㻀㻁㻂㻃㻄㻅㻆㻇㻈㻉㻊㻋㻌㻍㻎㻏㻐㻑㻒㻓㻔㻕㻖㻗㻘㻙㻚㻛㻜㻝㻞㻟㻠㻡㻢㻣㻤㻥㻦㻧㻨㻩㻪㻫㻬㻭㻮㻯㻰㻱㻲㻳㻴㻵㻶㻷㻸㻹㻺㻻㻼㻽㻾㻿㼀㼁㼂㼃㼄㼅㼆㼇㼈㼉㼊㼋㼌㼍㼎㼏㼐㼑㼒㼓㼔㼕㼖㼗㼘㼙㼚㼛㼜㼝㼞㼟㼠㼡㼢㼣㼤㼥㼦㼧㼨㼩㼪㼫㼬㼭㼮㼯㼰㼱㼲㼳㼴㼵㼶㼷㼸㼹㼺㼻㼼㼽㼾㼿㽀㽁㽂㽃㽄㽅㽆㽇㽈㽉㽊㽋㽌㽍㽎㽏㽐㽑㽒㽓㽔㽕㽖㽗㽘㽙㽚㽛㽜㽝㽞㽟㽠㽡㽢㽣㽤㽥㽦㽧㽨㽩㽪㽫㽬㽭㽮㽯㽰㽱㽲㽳㽴㽵㽶㽷㽸㽹㽺㽻㽼㽽㽾㽿㿀㿁㿂㿃㿄㿅㿆㿇㿈㿉㿊㿋㿌㿍㿎㿏㿐㿑㿒㿓㿔㿕㿖㿗㿘㿙㿚㿛㿜㿝㿞㿟㿠㿡㿢㿣㿤㿥㿦㿧㿨㿩㿪㿫㿬㿭㿮㿯㿰㿱㿲㿳㿴㿵㿶㿷㿸㿹㿺㿻㿼㿽㿾㿿											

中学2年 情報の時間							教科											中学 2年					
月	週	B1：情報社会に参画する態度（情報モラル等）	B2：情報手段の基本的な操作	B3：問題解決の基礎等	備考	B4：情報の活用	単元名・活動	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	体育	技術	家庭	英語	総合					
4月	1	高度信頼・アカウント管理	数値のグラフ化	情報の収集	最先端の科学技術の情報を集める		「最先端の科学技術によって自分の生活はどのように変化するか」 ①情報を集める。	多様な方法で情報を集めよう（多様な情報を集め、考えをまとめる）35週・B3	江戸幕府（文書資料を活用して歴史の情報を読み取る）23・24週・B3	酸素がかわかる化学変化（実験データ・グラフスプレッドシート）2週・B3	曲想と音楽の構造との関りを理解して、その魅力を楽しむ（曲や演奏に対する評価とその根拠について考える）26週・B3	文字絵を使った（イラストレーション・アイデアスケッチ・色鉛筆で着色）27週・B3	健康な生活と疾病の予防（スライド）3～4週B3			生活を豊かにするための布を用いた製作（スライド動画を見て製作）13週・B3	Unit0 My Spring Vacation Show and Tell（発表）Unit1 A Trip to Singapore 旅行計画（やり取り）4週・B3	探究					
	2			整理・分析	情報の抽象化する		②集めた情報を抽象化して自分の考えをつくる。																
	3			まとめ・表現	自分の考えがよく伝わるスライドを作成する		③自分の考えを伝えるためのスライドをつくる。																
5月	4			説明・発表	スライドの内容について議論する		④伝えたいことについて議論する。																
	5			説明・発表	プレゼン発表		⑤スライドを使って自分の発表を発表する。																
	6	社会貢献			良いプレゼンの条件を知る		⑥よいプレゼンの条件を知る。																
6月	7	公私 訴訟			プレゼンの練習をする		⑦プレゼンの練習をする。																
	8	コメントの目的		説明・発表	プレゼンを発表し、評価し合う		⑧プレゼンを発表、評価し合う。																
	9				振り返り		⑨振り返りをする。	メディアの特徴を生かして情報を集めよう（目的や意図に応じ、メディアを比べるなど多様な方法で情報を集める）	地域調査（新聞などのメディアやインターネットを活用して、地域調査に必要な資料を集める）11週・B3														
6月	10			課題の設定	発信の相手と目的を決める		「地域の歴史を調査してをPRする動画を発信しよう」	具体と抽象（情報を具体化したり抽象化する）	日本の地域的特色と地域区分（①情報を学習課題に沿って整理して、新聞やレポートなどにまとめる。②仮説や主張を要点に、それを導くための論議などをつくる段階に、その根拠となるものをさらに下の階層に示すことで、仮説や主張を明確につくり構造化したりする。）B3							衣服の選択と手入れ ダイヤモンドランキング（比較）26週・B3							
	11			情報の収集	対象となる歴史ある建物について情報を収集する		①発信の目的と相手を決める。 ②歴史ある建物決めて調べる。 ③調査の様子を動画にする方法を調べる。																
	12			整理・分析 まとめ	調査の様子を動画にする方法を知る		④動画の構成要素を知る。 ⑤音の効果を知る。 ⑥動画に音を付け足す。 ⑦タイトルの効果を知る。 ⑧コピーを付け足す。 ⑨作った動画を見ながら議論する。																
7月	13			まとめ	動画の構成要素（光・アングル・ズーム）を知る		⑩議論したことをもとに動画を編集する。																
	14	音と感情		まとめ	音の効果を知って使う		⑪自分にとって意味のある振り返りの仕方を知る。	九州地方・中国四国地方（統計資料や地形図、主題図から情報を集め、その特色を読み取る。地形図から必要な情報を読み取る。）34週・B3	九州地方・中国四国地方（統計資料や地形図、主題図から情報を集め、その特色を読み取る。地形図から必要な情報を読み取る。）34週・B3	表現を工夫して書く（手紙や電子メールを書く）31週・B3								探究					
	15	音を足す	まとめ	動画に音をプラスする	⑫単元の活動を振り返る。																		
9月	16	言葉と感情	タイトルの編集	まとめ	タイトルの効果																		
	17			まとめ	コピーをプラスする																		
	18			説明・発表	ディスカッションする		⑬根拠の適切さを考えて書く（適切な根拠を選び、構成などを工夫して明確な意見文を書く）	近畿地方・中部地方（情報を視点・対象に基づいて整理することで、事象を分類したり比較したりする）26週・B3	判読と反応（気象の観測（観測データ→スライドとスプレッドシートをリンクさせる）（実験での温度変化データ・グラフスプレッドシート）2週・B3	レオナルドとその時代（「最後の晩餐」を比較する）26週・B3	傷害の予防（探求・課題の設定）10週・B3												
10月	19			まとめ・表現	ディスカッションを動画づくりに活かす		モアイは語る（自分の知識や考えと比べながら、文章の構成や論理の展開を吟味する）29週・B3																
	20			振り返り	活動の振り返り方を広げる																		
	21				振り返り																		
11月	22	公共		課題の設定	データから問題を発見する		「中学生の実態のデータを分析して中学生の～を提案しよう」	関東地方・東北地方（複数の情報を上から順位付けて並べることで、情報を評価する）26週・B3	雲のでき方と前線（気象要素データ→スプレッドシート）2週・B3	雲のでき方と前線（気象要素データ→スプレッドシート）2週・B3	オペラに親しみ、その魅力を味わおう（曲や演奏に対する評価とその根拠について考える）26週・B3	そっくりにつくろう（着彩）27週・B3	傷害の予防（探求・課題の設定）10週・B4										
	23			情報の収集	箱ひげ図の読み取り方を知る	①データを使う問題解決																	
	24			情報の収集	箱ひげ図の読み取り方を知る	②箱ひげ図を読めるようにしよう	③全国体力テストの結果を見よう																
	25			情報の収集	全国の体力の実態を、公的な文書から読み取る	④グラフからわかることを疑ってみよう	⑤施策を調べて評価しよう																
12月	26			整理・分析	クリティカル・シンキング		⑥全数調査と標本調査																
	27			情報の収集	施策について多面的多角的に評価する		⑦無作為に情報を集めよう	北海道地方・地域の在り方（集めたデータを比較・関係付けがしやすいようにウェブマップ、模式図、グラフ等に客観的にまとめる）34週・B3	大気の動きと日本の天気（気象情報の収集→ウェブ検索）（気象現象と災害のレポートドキュメント・スライド）11週・B3	歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう（曲や演奏に対する評価とその根拠について考える）26週・B3	住まいの役割と安全な住まい方（家族と住まい）Xチャート、Wチャート（比較）26週・B3	Stage Activity2 Research and Presentation（発表）28週・B3	探究										
	28			情報の収集	調査の方法を知る		⑧箱ひげ図で無作為に得た結果を表現しよう																
1月	29			情報の収集	高森台中学校の生徒のデータをまとめて分析しよう		⑨高森台中学校の生徒のデータをまとめて分析しよう																
	30			情報の収集	高森台中学校の生徒のデータをまとめて分析しよう		⑩高森台中学校の生徒のデータをまとめて分析しよう																
	31			情報の収集	データの探索的に分析して問題を発見しよう		⑪データを探索的に分析して問題を発見しよう																
2月	32			情報の収集	無作為に情報を集める		⑫発見した問題を検討しよう																
	33			情報の収集	AIの力を活用した問題解決		⑬AIの力を活用した問題解決																
	34			情報の収集	無作為に情報を集める		⑭振り返りをする																
3月	35			情報の収集	集めたデータをグラフ化し、比較したり関連付けたりして分析する		⑮集めたデータをグラフ化し、比較したり関連付けたりして分析する																
	36			情報の収集	集めたデータをグラフ化し、比較したり関連付けたりして分析する		⑯集めたデータをグラフ化し、比較したり関連付けたりして分析する																
	37			情報の収集	データの探索的に分析して問題を見つける		⑰データを探索的に分析して問題を見つける																
3月	38			整理・分析	データの探索的に分析して問題を見つける		⑱データを探索的に分析して問題を見つける																
	39			整理・分析	AIの活用		⑲AIの活用																
	40			まとめ・表現	吟味をともに改善する		⑳吟味をともに改善する	国語の学びを振り返ろう（考えをわかりやすく伝える）28週・B3	明治維新（複数の情報を地図にまとめる。順序や因果関係などを整理して年表にまとめる。集めた思想的な特色やデータを比較・関係付けがしやすいように表に整理し、客観的にまとめる。主眼に、根拠となるデータや論議を結び付けることで、主張を論理的に構成する。）35週・B3	箱ひげ図とデータの活用（データの活用）34週・B3	北斎からゴッホへ（日本美術と西洋美術の表現の共通点と違いを考える）26週・B3												

中学3年 情報の時間							教科												中学3年
月	週	B1: 情報社会に参画する態度 (情報モラル等)	B2: 情報手段の基本的な操作	B3: 問題解決の基礎等	備考	B4: 情報の活用	単元名・活動	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	体育	技術	家庭	英語	総合	
4月	1			課題の設定			「自分が興味を持ったテーマを深掘りして論文の形にしてみよう」 ①課題を設定する。 ②どのように調査・研究して論文を書いていくか、計画を立てる。 ③先行研究などから、調査・研究の方法や根拠となる事柄を探す。 ④実際に調査・研究を行ったり、根拠を探したりして、データを集める。	評価しながら聞く (観点を決めて評価する) 35週・B3			科学で調べていこう (考察の仕方・議論の仕方・発表の仕方) 6週・B3 11週・B3						幼児の生活と家族 幼いころを振り返ろう イメージマップ イメージを広げ、整理する 1週・B3	障がい者スポーツについて情報を集め、人々を驚かせるスエーデンの力について伝えよう (レポート・発表) 11週・B3	探究
	2			課題の設定	研究の計画														
	3			情報の収集	先行研究を集める														
5月	4			情報の収集	データを集める			文章の種類を選んで書く(文章の種類を選び、構成を工夫して魅力的な紙面を編集する・情報の信頼性) 5週B1・7週B3	第1次世界大戦 大正デモクラシー (世界恐慌、第2次大戦と日本(比較・多面的多角的・レポートにする) 6週・B3		酸、アルカリとイオン 化学変化と電池 (まとめのレポートを作成する) 8,9週・B3	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう (曲や演奏に対する評価やその根拠を考える) (曲のよさをプレゼンする) 9,10,27週・B3				商品の選択と購入 意思決定のプロセス (目的意識、情報の収集、方法の検討、決定、実行、評価改善) 14~21週・B3			
	5	海外の情報にあたるときの注意 (偏悪性)		整理・分析	データ分析														
	6			整理・分析	比較・分類														
6月	7			整理・分析	構成を考える														
	8	情報と感情		まとめ	文章にまとめる (引用)			具体化・抽象化 15週・B3 実用的な文章を比較して読む 3週・B3						健康な生活と病気の予防 (スライド) 10週・B3			社会的な話題に関する講演を聞き、話し手の伝えたい内容を資料を使って説明しよう (資料・スライド) 28,29週・B3		
	9			まとめ	文章にまとめる (必要な資料を作成して付け足す)														
7月	10			まとめ	スライド作成														
	11			説明・発表	発表														
	12			まとめ・表現	ディスカッションする														
9月	13								現代社会と私たち (地域社会の現状から必要な情報を集める。主張の順番や、事象が起こる順番を整理して並べることで、順序立てる。反対の価値をもつ基準で縦と横の二軸の座標軸を設け、対象を座標上に位置付けることで、情報を評価する。) 24,25,26,27週・B3								世界の絶滅の恐れのある動物について調べ、自分たちにはできることを伝えよう (レポート) 8,9週・B3		
	14			情報の収集	学校祭の情報を集めよう				私たちの生活文化 (視点・対象に基づいて整理することで、事象を分類したり比較したりする。対象を比較していくことで分類していく) 27週・B3							家族・家庭や地域との関わり (スライド) 28,29週・B3		探究	
	15			課題の設定	情報を伝える目的を抽象化する (誰に何のために情報を届けたいか)														
10月	16	リスク管理		整理・分析 まとめ	webサイトの構成・レイアウト														
	17		サイトのツール操作	整理・分析 まとめ	webサイトの作成														
	18			説明・発表	つくったwebサイトについて議論する			多角的に分析して書く(説得力のある批評法を書く) (8,9週・B3) 人工知能との未来・人間と人工知能と創造性 (文章を批判的に読み、これからの社会の在り方について自分の意見をもつ) (3,12週・B3)	個人の尊重と日本国憲法 (統計資料から、その特色を読み取る。相互関係を整理して図にまとめる。主張に、根拠となるデータや論拠を矢印で結びつけることで、主張を論理的に構成する。) 24~26週・B3	関数とグラフ (関数関係を利用し、いろいろな問題を解決する。変化の様子をグラフに表す。) 9週・B3				日本の世界文化遺産 (文化遺産についてレポートを書く) 7,8,9週・B3		ニュースなどのテレビ番組の音声を聞いて、要点をまとめよう (ラジオ・テレビ番組)			
11月	19			まとめ	webサイトの改善														
	20			説明・発表	webサイトを公開しよう														
	21				振り返ろう	振り返ろう													
12月	22			課題の設定	単元の学習の意味を理解する														
	23			課題の設定	課題・仮説の設定														
	24			情報の収集	予測に必要なデータ														
1月	25			情報の収集	過去の情報から予測する														
	26	海外の情報にあたるときの注意		情報の収集	海外の情報から予測する			情報を読み取って文章を書く(小論文で自分の考えを書く)(8,9週・B3) ⑦色の効果を考えてスライドにまとめる。 ⑧フォントやレイアウトを考えてスライドにまとめる。 ⑨作成したスライドの吟味のために議論する。 ⑩議論をもとにスライドを改善する。 ⑪自分の予測する未来を発表する。 ⑫振り返りする。	現代の民主政治 (コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用して目的に応じてさまざまな情報を集める。批判的な視点をもちながら複数の新聞を見比べたり結び付けたりする) 30週・B3	私たちの暮らしと経済 (同一の事象における異なる側の情報を見比べたり結び付けたりして読み取る。チラシやCM動画などから制作者の意図を読み取る。意図の理解を軸を上から順位付けし並べることで、情報を評価する。) 24~27週・B3				日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう (音楽表現の共通性や固有性について考える) 27週・B3		国を越えて助け合うことがなぜ大切なのか自分の考えをまとめよう (スプレッドシート) 15週・B3			
	27			整理・分析	比較する 多面的・多角的に見る													中学校生活の思い出をスライドにまとめ発表しよう またそのしづをもちにやり取りしよう (スライド・スプレッドシート) 28~32週・B3	
2月	28	情報と感情		まとめ	スライドの作成 (色の効果)														
	29			まとめ	スライドの作成 (フォント・レイアウトの効果)														
	30			説明・発表	議論を通したクリティカル・シンキング														
3月	31			まとめ	議論をもとにしたスライド作成														
	32			説明・発表	発表														
	33				振り返り														
3月	34			情報の収集	中学校の学びを振り返る														
	35				自分の学びの評価をする														